



取扱説明書

DB565USB

**USBスロット搭載
CD/MP3/WMAレシーバー**

このたびはクラリオン商品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございました。

安全に正しくご利用いただくため、ご使用前にこの『取扱説明書』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところ（グローブボックスなど）に必ず保管してください。

保証書（別添）は、お買い求めの販売店で記入しますので、内容をご確認のうえ、後々のためこの取扱説明書とともに大切に保存してください。

目次

はじめに

主な特長	4
ご使用の前に	5
安全に正しくお使いいただくために	5
安全上のご注意	6
取扱上のご注意	8
ご確認事項	8
本体のお手入れについて	8
ディスプレイについて	8
表示画面について	8
エラー表示について	9
DCP部の取り扱いについて	9
CDの演奏について	9
CDについて	9

本機の使用

■各部の名称とはたらき

本体部	10
モード別ディスプレイ表示	12
(別販)リモコン(RCB176)の使いかた	14

■基本の使用

DCPの取り外しかた	16
DCPの取り付けかた	16
電源を入れる	17
ソースを選ぶ	17
音量を調節する	17
時刻を合わせる	17
表示を切り換える	18
音質を簡単に設定する(Zエンハンサー機能)	19
オーディオモードを調整する(BASS,TREB,BAL,FAD)	19
重低音を増強する(マグナベースEX機能)	19

■ラジオを聴く

ラジオを選ぶ	20
受信バンドを切り換える	20
自動選局する(シーク選局)	20
手動選局する(マニュアル選局)	20
プリセット選局する	21
プリセットメモリーする	21
自動メモリーする(オートストア機能)	21
放送を確かめる(プリセットスキャン)	22
特定の放送局をすぐに選局する(ISR機能)	22

■CD/MP3/WMAを聴く

MP3/WMAについて	23
演奏するファイルタイプを切り換える (マルチセッション機能)	24
ディスクを入れる	24
ディスクを取り出す	25
すでに入っているディスクを聴く	25
曲を選ぶ	25
演奏を止める(一時停止)	25
早送り/早戻しする	25
最初の曲から聴く(トップ機能)	26
フォルダを切り換える(フォルダ選択モード)	26
いろいろな演奏(スキャン/リピート/ランダム演奏)	27

■設定を変更する(アジャストモード)

スクリーンセーバーを設定する(SCRN SVR)	28
タイトルスクロールを設定する(A-SCROL)	28

外部機器の操作

■USBメモリーのオーディオファイルを聴く

※『曲を選ぶ/早送り/早戻し/一時停止/トップ機能/スキャン演奏/リピート演奏/ランダム演奏/フォルダ選択モード』は、CDモードと同様の操作です。「CD/MP3/WMAを聴く」(25～27ページ)をご覧ください。

USBメモリーについて	29
USBを接続する	30
接続されたUSBを聴く	30
演奏を終了するには	31

■携帯用オーディオを聴く

AUXを選ぶ	32
--------------	----

その他

故障かな?と思ったら	33
エラー表示について	35
仕 様	36
アフターサービスについて	38

主な特長



■USB再生機能

- 最大12Mbpsの転送レートで、USB 1.1/2.0互換
- 市販のUSBメモリーに記録したMP3/WMAフォーマットのファイルが再生可能

※使用するUSBメモリーは、「USBマストレージクラス」準拠品であることをご確認のうえお買い求めください。

■MP3/WMA再生機能

- MP3/WMAフォーマットで記録したCD-ROM、CD-R/RWが再生可能
- ISO9660レベル1,2、JOLIET、ROMEOに対応

■フロントパネル

- 高級感あるフロントパネルを採用
- 盗難防止として取り外し可能

■表示部

- 大型高輝度LCDディスプレイ採用

■50W×4chハイパワーアンプ内蔵

- 最大出力50W×4chハイパワーアンプを内蔵

■Z-エンハンサー機能

- 3パターンの音質効果メモリーを備え、お好みの音質を即座に設定

■マグナベースEX機能

- 超低音域をブーストし再生する新ラウドネス機能

■ラジオチューナー部

- 聴きたい放送局を、ワンタッチで選局できるISR機能
- メモリーした放送局を順に受信するプリセットスキャン機能

■CD/MP3/WMAプレーヤー部

- 20秒間のショックプルーフメモリー搭載
- ID3タグ、WMAタグ表示が可能
- CD-R/CD-RW再生対応
- リピート/スキャン/ランダム機能

■リモートコントローラー対応

- 別販のリモコンで主なオーディオ操作が可能

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この説明書の表示では、製品を安全に正しく使用していただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った使用をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った使用をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。



○記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中には具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

安全上のご注意

- 安全のため、ご使用の前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになったあとはいつでも見られる所(グローブボックスなど)に必ず保管してください。

■ 使用上のご注意

⚠ 警告

- 運転者は走行中に操作
しない…



前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

- 本機を分解したり、改造
しない…



事故や火災、感電の原因となります。

- ディスプレイ部が映らな
い、音が出ないなどの故
障状態で使用しない…



事故や火災、感電の原因となります。
そのような場合は、必ずお買い求め
の販売店または最寄りの弊社修理相
談窓口にご相談ください。

- ディスク挿入口や機器内
部に水や異物をいれない
…



火災や感電の原因となります。

⚠ 警告

- 万一、異物が入った、水
がかかった、煙が出る、
変な臭いがするなどの異
常が起こったときは、た
だちに使用を中止し、必
ずお買い求めの販売店ま
たは最寄りの弊社修理相
談窓口にご相談する…



そのまま使用すると事故や火災、感
電の原因となります。

- ヒューズを交換するとき
は、必ず規定容量のヒュ
ーズを使用する…



規定容量を超えるヒューズを使用す
ると、火災の原因となります。本機
のヒューズ容量については、本機に
同梱されている「取付説明書」をご
覧ください。

⚠ 注意

- 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する… 

車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

- ディスク挿入口に手や指を入れない… 

けがの原因となることがあります。

- 本機を車載用以外には使用しない… 

感電やけがの原因となることがあります。

- 電源を切るときは、音量を最小にする… 

電源を入れたときに突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

- 音声が割れる、歪むなどの異常状態で使用しない… 

火災の原因となることがあります。

- 本機の取り付け場所変更は、安全のため必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口に依頼する… 

専門技術と経験が必要です。

取扱上のご注意

ご確認事項

- 車内が極度に冷えた状態のとき、ヒーターを入れてすぐに本機を使用すると、CDや光学部品が曇って正常な動作を行わないことがあります。

CDが曇っているときは、やわらかい布でふいてください。また光学部品が曇っているときは、1時間ほど放置しておく、自然に曇りがとれ、正常な動作に戻ります。

- マークのついたCDをご使用ください。

また、ハート形や八角形など、特殊形状のCDは使用しないでください。

- CD-R/RWで記録されたディスクでも使用できない場合があります。

- 本機はUSB 1.1/2.0互換で、MP3/WMAフォーマットのファイルが再生できます。

- 本機のUSBポートに接続をして再生できるUSBメモリは、「USBマストレージクラス」として認識されることが条件となりますが、すべてのUSBメモリの動作を保証するものではありません。

- 使用するUSBメモリーが「USBマストレージクラス」に準拠しているかは、販売メーカーにお問い合わせください。また、USBメモリーに関する取扱上のご注意等については、「USBメモリのオーディオファイルを聴く」(29ページ)をご覧ください。

本体のお手入れについて

- 本機をお手入れするときには、やわらかい乾いた布で軽くふいてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布につけて軽くふきとり、乾いた布で仕上げてください。



- 樹脂加工部に、ベンジンやシンナーなどの溶剤を使用しないでください。部品変形により故障することがあります。
- 自動車用クリーナーなどは使用しないでください。変質したり、塗料がはげる原因となります。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させておくと、シミのつくことがあります。

ディスプレイについて

- 本機のディスプレイ部(アクリル部品)の一部分に、細いスジが見える場合があります。これは製造過程でやむを得ず生じるもので、「傷」や「ひび割れ」などではありません。また、本機の性能および安全性を損なうものではありません。

表示画面について

- 非常に寒いときに、画面の動きが遅くなったり、画面が暗くなったりすることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。
- 液晶画面の表示色が、本体の熱や車内の温度によって変色することがありますが、液晶特有の現象で、故障ではありません。常温に戻れば回復します。

エラー表示について

- 本機はシステム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。ディスプレイにエラーが表示されたときには、「エラー表示について」(35ページ)の項目を参照して障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作になります。

DCP部の取り扱いについて

- DCP部は精密部品ですので、DCPを落としたりして、衝撃を与えないでください。また、絶対に水をつけないでください。
- DCP部が汚れたときには、乾いたやわらかい布でふき取ってください。

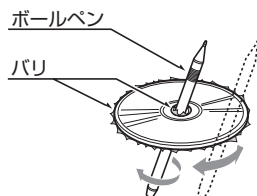
CDの演奏について

- 本機は精密な機構を使用しているため、万一異常が発生したときでも、絶対にケースを開けて分解したり、回転部分に注油したりすることはやめてください。
- CDを演奏中、振動の激しい悪路を走行すると、音飛びを起こすことがあります。
- 8cmシングルCDをイジェクトした状態で走行しないでください。走行中の振動により、ディスクが落下する恐れがあります。

CDについて

■取扱上のご注意

- CD-R,CD-RWは、通常の音楽CDに比べ高温多湿の環境に弱く、一部のディスクでは再生できない場合があります。車室内に長時間、放置しないようにしてください。
- 記録面に、傷、指紋、ほこり、汚れ等をつけないように扱ってください。
- レーベル面(印刷面)や記録面にシール、シート、テープなどを貼らないでください。
- セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした痕があるCDは使用しないでください。そのままCDプレイヤーに入れると、CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。
- 新しいディスクには、ディスクの周囲に「バリ」が残っていることがあります。このようなディスクをご使用になると、動作しなかったり音飛びの原因となります。ディスクにバリがあるときは、ボールペンなどでバリを取り除いてからお使いください。



■保管時のご注意

次のような場所には保管しないでください。

- 直射日光の当たる場所
- 湿気やホコリの多い場所
- 暖房の熱が直接当たる場所

■お手入れ

- 汚れたときには、やわらかい布で、内側から外側へ向かって、よくふいてください。
- 従来のレコードクリーナー液やアルコールなどでふかないでください。

各部の名称とはたらき

本体部



[RELEASE]ボタン

- ・DCPを取り外すときに使用します。

PS/AS
ENT



[▶||](プレイ/ポーズ)ボタン

- ・CD/MP3/WMA/USB時は、演奏の一時停止をします。
- ・各種設定の決定をします。
- ・ラジオ時に、自動的に放送局をメモリーしたり、メモリーされた放送局を確認できます。



ADJ

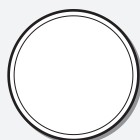
[A]ボタン

- ・押すと各種の設定や調整モードになります。(アジャストモード)



[<<<], [>>>](サーチ)ボタン

- ・ラジオ時は選局に使います。
- ・CD/MP3/WMA/USB時には選曲に使います。押し続けると早送り/早戻しを行います。



ロータリーボリューム

- ・音量を調整します。
- ・アジャストモード時には、各種の設定に使います。

・M・B・EX



[A-M]ボタン

- ・音質とバランス/フェダーを調整します。
- ・押し続ける(約1秒間)とマグナベースEX機能をON/OFFします。



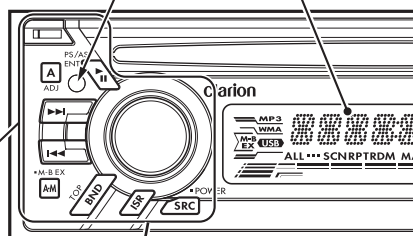
[BND]ボタン

- ・ラジオ時は、バンドを切り換えます。また、押し続け(約1秒間)で自動選局か手動選局に切り換えます。
- ・CD/MP3/WMA/USB時は最初の曲を演奏します。(トップ機能)

ディスプレイ部

選局/演奏状態の各情報を表示します。

リモコン受光部



[ISR]ボタン

- ・現在のソースにかかわらず、よくお聴きになるラジオ局をすぐに呼出します。(ISR機能)

・POWER

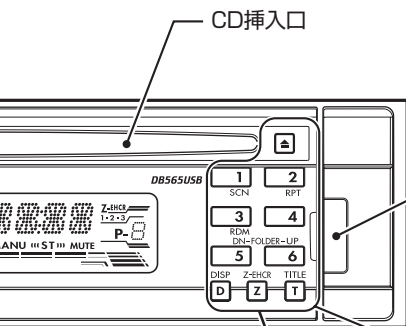


[SRC]ボタン

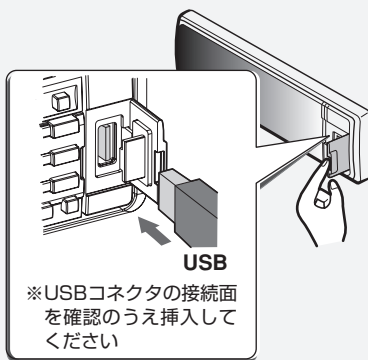
- ・電源を入れ、各ソースに切り換えます。電源を切るときは押し続け(約1秒間)ます。

■本文説明における省略記載について

- ・本書における商品イラストは、簡素化を図るため、操作説明に直接関係のない表示文字を一部省略しています。



■USBメモリーの入れかた



DN-FOLDER-UP

5

6

[UP], [DN]ボタン

- MP3/WMA/USB時は、フォルダを切り換えます。
- CD/MP3/WMA時は、ディスクの種類を切り換えます。(マルチセッション機能)

DISP

D

[D]ボタン

- ディスプレイ表示を切り換えます。

Z-EHCR

Z

[Z]ボタン

- 3種類の音質効果メモリーを切り換えます。

TITLE

T

[T]ボタン

- MP3/WMA/USB時にトラックタイトル/TAG等の表示を切り換えます。
- MP3/WMA/USBのタイトル表示のときに約1秒間押し続けると、タイトルをスクロールします。



[▲]ボタン

- CDが入っているときに押すと、CDがイジェクトされます。

1

6

[DIRECT]ボタン

- ラジオ時に、放送局をメモリーして直接呼出します。

1

SCN

[SCN]ボタン

- CD/MP3/WMA/USB時に、約10秒間ずつスキャン演奏をします。
- MP3/WMA/USB時に約1秒間押し続けると、フォルダスキャン演奏をします。

2

RPT

[RPT]ボタン

- CD/MP3/WMA/USB時に、繰り返し演奏をします。
- MP3/WMA/USB時に約1秒間押し続けると、フォルダリピート演奏をします。

3

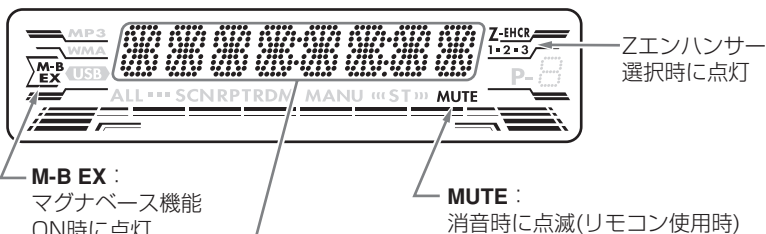
RDM

[RDM]ボタン

- CD/MP3/WMA/USB時にランダム演奏をします。
- MP3/WMA/USB時に約1秒間押し続けると、フォルダランダム演奏をします。

モード別ディスプレイ表示

■各モード共通の表示



タイトル表示部

- ・モード表示(モード切替時に2秒間表示します。)

CD/MP3 : CD/MP3/WMAモード

USB : USBモード

AUX : AUXモード

- ・タイトル表示

受信中の周波数やMP3/WMAディスクのタイトル等を表示します。

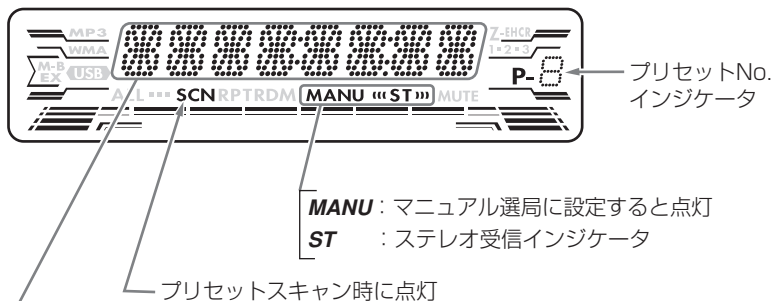
詳しくは、各モードの表示をご覧ください。

- ・スクリーンセーバー

スクリーンセーバー機能で設定されたパターンを表示します。

詳しくは、「スクリーンセーバーを設定する」(28ページ)をご覧ください。

■ラジオモード時の表示



- ・受信バンド/周波数表示

FM1 79.50 : FMバンド名と受信周波数

AM1 954 : AMバンド名と受信周波数

■CD/MP3/WMA/USBモード時の表示

MP3 : MP3演奏時点灯
WMA : WMA演奏時点灯
USB : USB演奏時点灯



ALL... : フォルダスキャン/フォルダリピート/
フォルダランダム演奏のときに点灯
SCN : スキャン演奏のときに点灯
RPT : リピート演奏のときに点灯
RDM : ランダム演奏のときに点灯

• メイン表示

演奏トラックNo./演奏時間表示(分、秒)

• タイトル表示選択時に表示

…MP3/WMA/USBにおいてはフォルダ名、トラック名を表示
表示モードを切り換えると、アルバムTAG、アーティストTAG、タイトル TAGの
表示も可能です。

• 選曲切換時に表示(約2秒間)

(CD再生時)

TRK SCN : スキャン演奏選択時
TRK RPT : リピート演奏選択時
TRK RDM : ランダム演奏選択時

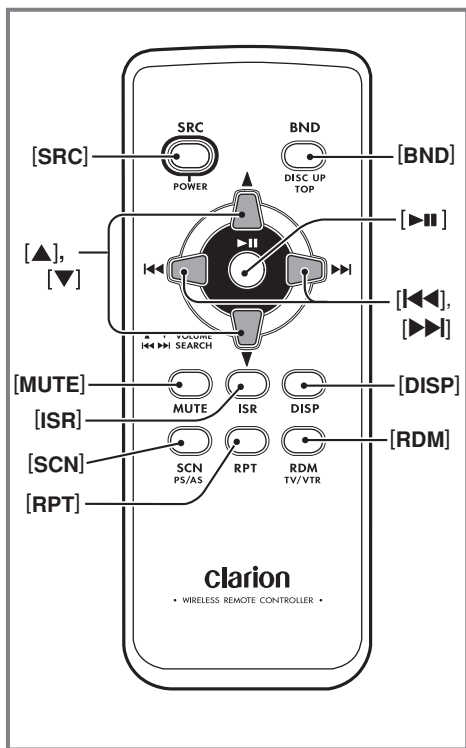
(MP3/WMA/USB再生時)

TRK SCN : スキャン演奏選択時
TRK RPT : リピート演奏選択時
TRK RDM : ランダム演奏選択時
FLD SCN : フォルダスキャン演奏選択時
FLD RPT : フォルダリピート演奏選択時
FLD RDM : フォルダランダム演奏選択時

• その他の表示

NO DISC : ディスクがないとき
ERROR 2 : エラー発生時
PAUSE : 演奏一時停止時

(別販)リモコン(RCB176)の使いかた



ソースを選ぶ

[SRC] ボタン

- 電源が入ります。また、押すたびにソースが切り換わります。

ラジオ → CD/MP3/WMA → (USB) → AUX

- 約1秒間押し続けると、電源が切れます。

音量を調節する

[▲], [▼] ボタン

音を消す

[MUTE] ボタン

- ミュート(消音)機能をON/OFFします。

ISRメモリーを呼出す

[ISR] ボタン

- 再生中のソースにかかわらず、登録されているラジオ局を呼び出します。
- ISRにすぐ聴きたい放送局をメモリーするには、ラジオで**[ISR]**ボタンを約2秒間押し続けます。
- 元のソースに戻すには、もう一度**[ISR]**ボタンを押します。

曲を探す/放送局をプリセットする

[SCN] ボタン

- スキャン演奏します。
(CD/MP3/WMA/USB時)
- MP3/WMA/USB再生時に約1秒間押し続けると、フォルダーキャン演奏をします。
- ラジオ時には、プリセットした放送局を確かめられます。(プリセットスキャン)
また、約2秒間押し続けると放送局を自動的にメモリーします。(オートストア)
- 解除するときは、もう一度**[SCN]**ボタンを押します。

繰り返し演奏する

[RPT] ボタン

- 繰り返し演奏します。
(CD/MP3/WMA/USB時)
- MP3/WMA/USB時に約1秒間押し続けると、フォルダリピート演奏をします。
- 解除するときは、もう一度**[RPT]**ボタンを押します。

最初の曲から演奏する/バンドを切り換える

[BND] ボタン

- 最初の曲から演奏します。
- ラジオ時は受信バンドを切り換えます。

演奏する

[▶||] ボタン

- 演奏と一時停止をします。
(CD/MP3/WMA/USB時)

選曲する/選局する

[◀◀], [▶▶] ボタン

- 押した回数だけ先の曲、または前の曲を演奏します。
約1秒間押し続けると、早送り/早戻しをします。
(CD/MP3/WMA/USB時)
- プリセットチャンネルをアップ/ダウンします。
(ラジオ時)

表示を切り換える

[DISP] ボタン

- 次のように表示を切り換えます。
メイン表示 ↔ 時計表示
- CD/MP3/WMA/USB時の表示については、
「表示を切り換える」(18ページ)をご覧ください。

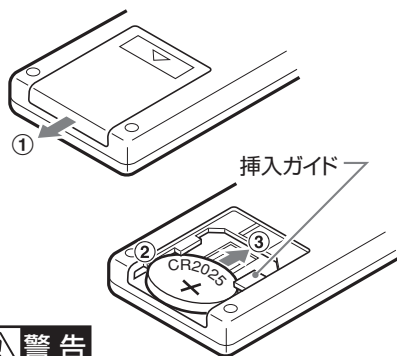
ランダム演奏する

[RDM] ボタン

- ランダム演奏します。
(CD/MP3/WMA/USB時)
- MP3/WMA/USB時に約1秒間押し続けると、
フォルダランダム演奏をします。
- 解除するときは、もう一度[RDM]ボタンを押します。

■電池の入れかた

- ① リモコンを裏返し、ふたを矢印の方向に引き出します。
- ② 電池(CR2025)の刻印面を上にして、挿入ガイド部にセットします。
- ③ セットした電池を押しながら矢印方向に挿入します。
- ④ 「カチッ」と音がするまで、ふたを押し込みます。



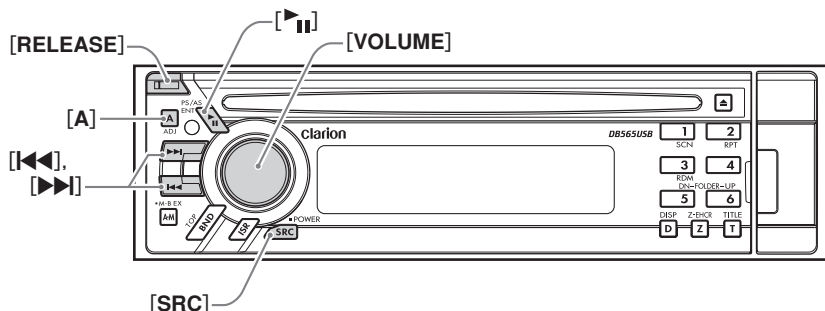
⚠ 警告

- ・リモコンを放置しないでください。
停車したときやカーブを曲がる時に、リモコンが足元に転がり、ブレーキペダルなどの下に入り込むと運転の妨げとなり交通事故の原因となります。
- ・事故防止のため、リモコンの電池は幼児の手の届かないところに保管してください。
万一、お子さまが飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

⚠ 注意

使用を誤ると、電池の破裂や液漏れにより、ケガや火災、周囲を汚染する原因となりますので、以下の注意事項をお守りください。

- ・指定電池以外は使用しない。
- ・電池を交換するときは、極性の向きを間違えないように正しく入れる。
- ・電池を加熱したり、火や水の中に入れない。
また、分解しない。
- ・使用済みの電池は、定められた場所に廃棄する。
- ・リモコンは直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管する。



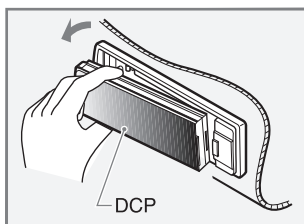
DCPの取り外しかた

DCP(Detachable control panel)について...

このコントロールパネルは盗難防止用に取り外すことができます。

車から離れるときは、DCPをお持ちになることをおすすめします。

- 1 **[SRC]** ボタンを押し続けて (約 1 秒間)、電源を切る
- 2 **[RELEASE]** ボタンを深く押す
→DCPの左端が本体から外れます。
- 3 DCPを手前に取り出す

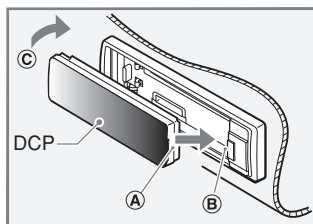


注意

- 運転中にDCPの脱着操作をしないでください。
- DCPは衝撃に弱いです。取り外した後は、DCPケースに入れることをおすすめします。また、落したり強い衝撃を与えると故障の原因となりますのでご注意ください。

DCPの取り付けかた

- 1** DCPの右側の④部を、本機のツメ③部に差し込む



- 2** DCPの左端©部を、カチッと音がするまで押す

注意

- DCPがロックされていない状態で走行すると振動により落下する恐れがありますので、本機に確実に取り付けてください。
- 本機とDCPを接続しているコネクタは大変重要な部分です。爪やドライバー等で押してキズをつけないように、注意してください。

ご注意

DCPが汚れている場合、乾いた柔らかい布で拭いてください。

電源を入れる

システムチェックついて…

電源を入れるとシステムチェックを開始しディスプレイに“**SYS CHK**”を表示します。チェックを完了すると電源OFFの状態になりますので、[SRC]ボタンを押してください。

1 [SRC]ボタンを押す

→ラジオモードになります。

ご注意

バッテリーあがり防止のため、本機の操作は、エンジンをかけた状態で行ってください。

■ 電源を切るときは…

[SRC]ボタンを押し続けてください。
(約1秒間)

ソースを選ぶ

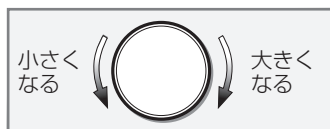
1 [SRC]ボタンを押す

→押すたびに、次のように切り換わります。

ラジオ → CD/MP3/WMA → (USB) → AUX

音量を調節する

1 [VOLUME]ノブを回す



⚠ 注意

運転中は車外の音が聞こえる程度の音量にしてください。

時刻を合わせる

時計表示について…

本機は、車のエンジン作動時(ACC ON 時)に時計を表示します。
時計は12時間表示です。

1 [A]ボタンを押す

→タイトル表示部に前回調整した項目「**CLOCK E**」等を表示して、設定変更モード(アジャストモード)になります。

2 [◀◀], [▶▶](サーチ)ボタンを押して、「**CLOCK <E>**」を選ぶ

3 [▶||](プレイ/ポーズ)ボタンを押す

→調整時点(「**PM 2:20**」等)の時刻を表示し、時刻設定モードになります。

・時刻を合わせる途中で他のボタンを操作すると、時刻は調整されません。

4 [◀◀], [▶▶](サーチ)ボタンを押して、時または分を選ぶ

→点滅している項目が調整できます。

5 [VOLUME]ノブを回して、時刻を合わせる

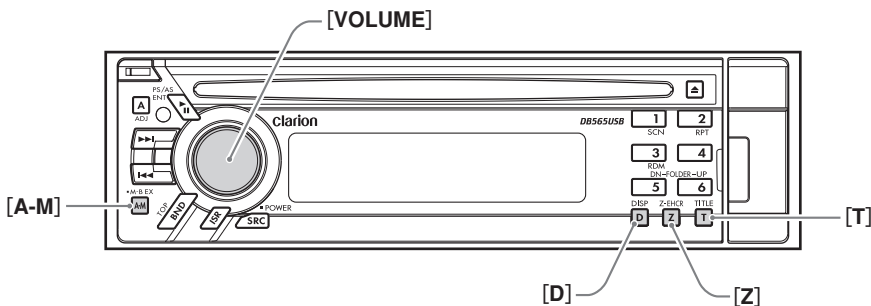
6 [▶||](プレイ/ポーズ)ボタンを押す

→時刻が設定されます。

ご注意

・電源OFF状態での時間表示のときは、時計を設定することはできません。
・点検や修理などでバッテリーを外したときには、もう一度、時刻合わせをしてください。

7 [A]ボタンを押して、元のモードに戻る

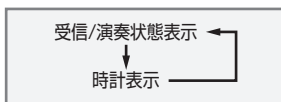


表示を切り換える

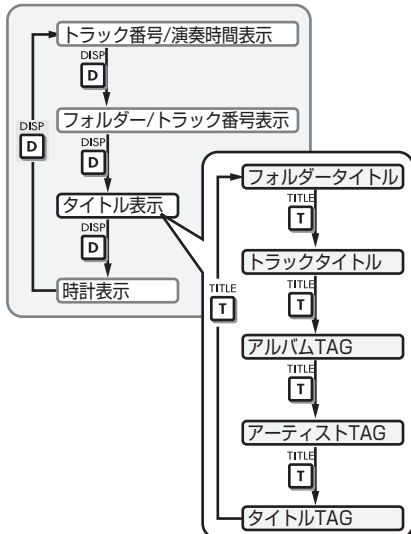
1 [D]ボタンを押して、表示を選ぶ

→押すたびに、次のように切り換わります。

●ラジオ/CDのとき



●MP3/WMA/USBのとき



■MP3/WMA/USBのタイトル/TAG表示を切り替えるには…

タイトル表示のときに[T]ボタンを押してください。

■MP3/WMA/USBのタイトルをスクロールするには…

タイトルが表示されているときに、[T]ボタンを押し続け(約1秒間)てください。

→タイトルが左にスクロールします。

- タイトルの末尾までスクロールすると、最初の8文字表示に戻ります。
- スクロールの初期設定は「ON」です。この状態のときは、自動でスクロールし続けます。設定については「タイトルスクロール方法を設定する(A-SCROL)」(28ページ)をご覧ください。

■スクリーンセーバー機能について

スクリーンセーバー機能の初期設定は「ON」です。選局/選曲操作に関連する表示を一定時間表示した後、この機能がはたらきます。

■受信情報等を常に表示するには…

「スクリーンセーバーを設定する」(28ページ)を参照して、スクリーンセーバー機能を「OFF」にしてください。

音質を簡単に設定する (Zエンハンサー機能)

Zエンハンサー機能について…

本機は、3種類の音質効果をメモリーしてあります。お好みの音質を設定してお楽しみください。

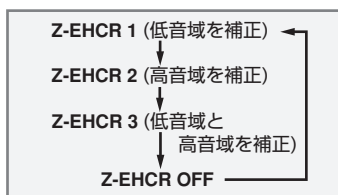
※初期設定は「OFF」です。

1 [Z]ボタンを押す

→Zエンハンサーインジケータが点灯します。

2 [Z]ボタンを押して、お好みの音質を選ぶ

→[Z]ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。



オーディオモードを調整する (BASS, TREB, BAL, FAD)

・BASS(低音部調整)/TREB(高音部調整)は、Z-エンハンサー機能がOFFのときに調整できます。

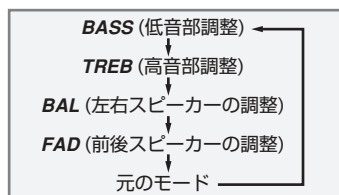
※初期設定は、「0」です。

ご注意

オーディオモードを選択した後、約7秒間操作をしなかったときは、オーディオモードを解除して元に戻ります。

1 [A-M]ボタンを押して、調整項目を選ぶ

→ディスプレイに調整項目を表示します。
[A-M]ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。



2 [VOLUME]ノブを回して、調整する

■低音(BASS)/高音(TREB)の調整



■左右のスピーカー音量(BAL)の調整



■前後のスピーカー音量(FAD)の調整



3 [A-M]ボタンを押して、元のモードに戻る

重低音を増強する (マグナベースEX機能)

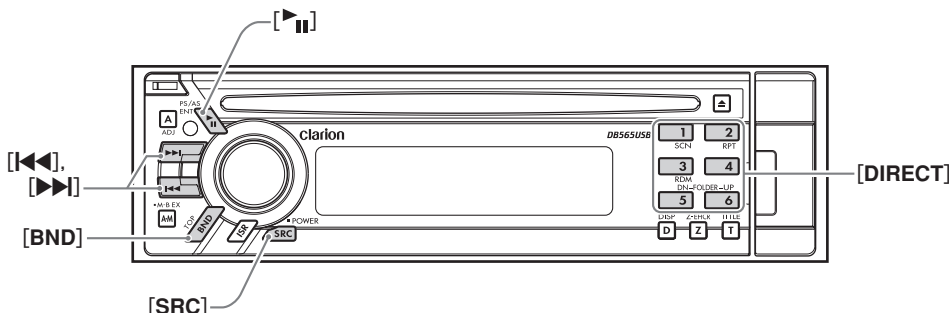
1 [A-M]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→マグナ・ベースEX(MAGNA BASS EX)がONになり、重低音が増強されます。

■マグナベースEX機能を解除するには…

もう一度、[A-M]ボタンを押し続けてください。

ラジオを聴く



ラジオを選ぶ

1 [SRC]ボタンを押す

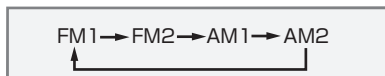
→押すたびに、次のようにソースが切り換
わります。



受信バンドを切り換える

1 [BND]ボタンを押す

→押すたびに、バンドが切り換わります。



自動選局する(シーク選局)

1 「MANU」が点灯しているときは、
「BND」ボタンを押し続ける(約1秒間)

→ディスプレイの「**MANU**」が消灯すると、自動選局ができます。

2 [◀◀], [▶▶](サーチ)ボタンを押す

→放送のあるところで、自動的に選局が止まります。

手動選局する(マニュアル選局)

1 「MANU」が消灯しているときは、
「BND」ボタンを押し続ける(約1秒間)

→ディスプレイの「**MANU**」が点灯すると、手動選局ができます。

2 [◀◀], [▶▶](サーチ)ボタンを押して、放送のあるところに合わせる

→手動選局には、ステップ選局とクイック選局があります。

- ステップ選局のときは、[◀◀], [▶▶] ボタンを押すと、周波数が1ステップずつ切り換わります。
- クイック選局のときは、[◀◀], [▶▶] ボタンを押し続ける(約1秒間)と、周波数が連続して切り換わり、お好みの周波数に合わせるができます。

プリセット選局する

プリセット選局について…

あらかじめメモリーしてある放送局を選局する機能です。

- 1 [DIRECT](1～6)ボタンを押して、聴きたい放送局を選ぶ

→ディスプレイに受信周波数とプリセットNo.を表示します。

ご注意

[DIRECT]ボタンを押し続ける(約2秒間)とプリセットメモリーとなり、受信中の放送局がメモリーされてしまいます。

プリセットメモリーする

プリセットメモリーについて…

プリセットメモリーできるのは、FM1、FM2、AM1、AM2各6局、合計で24局です。

- 1 [BND]ボタンを押して、メモリーしたい受信バンドを選ぶ

- 2 [◀◀], [▶▶](サーチ)ボタンを押して、メモリーしたい放送局を選ぶ

- 3 メモリーさせたい[DIRECT](1～6)ボタンを押し続ける(約2秒間)

→押した[DIRECT](1～6)ボタンに登録されます。

自動メモリーする(オートストア機能)

オートストア機能について

自動受信した放送局を、自動的にプリセットメモリーします。

- 1 [BND]ボタンを押して、メモリーしたい受信バンドを選ぶ

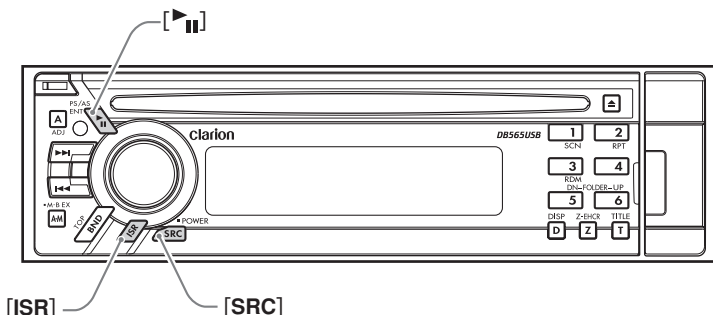
- 2 [▶||](プレイ/ポーズ)ボタンを押し続ける(約2秒間)

→タイトル表示部に自動メモリー動作中のプリセットNo.を表示します。

自動的に、受信感度の良い放送局が[DIRECT](1～6)ボタンに登録されていきます。

ご注意

- 自動メモリーをすると、これまで登録されていた放送局は消去されます。
- 登録できる放送局が6局に満たない場合は、低い周波数に戻って、登録をします。また、自動メモリーを2回繰り返しても6局に満たない場合は、それまでの登録内容が残ります。



放送を確かめる (プリセットスキャン)

プリセットスキャンについて…

プリセットスキャンは、ダイレクトボタンにメモリーされている放送局を順に受信します。

1 [PAUSE](プレイ/ポーズ)ボタンを押す

→タイトル表示部にプリセットスキャン動作中のプリセットNo.を表示します。

- メモリーしている放送局を、順に約7秒間ずつ受信します。また受信できない放送局はとばして、次の放送局を受信します。

ご注意

[PAUSE](プレイ/ポーズ)ボタンを押し続ける(約2秒間)と、オートストア機能になります。ご注意ください。

■プリセットスキャンを解除するには…

もう一度、[PAUSE](プレイ/ポーズ)ボタンを押してください。

→ボタンを押したときに受信していた放送局になります。

特定の放送局をすぐに選局する (ISR機能)

ISR(Instant Station Recall)機能について…

どのモードからでもすぐに特定の放送局を呼び出す機能です。交通情報など、運転中に聞きたい情報などをすばやく選局できます。

※初期設定では、AM1620kHzの交通情報がメモリーされています。

1 [ISR]ボタンを押す

→ディスプレイに「ISR 1620」を表示します。

■元のモードに戻すには…

もう一度、[ISR]ボタンまたは[SRC]ボタンを押してください。

■ISRにメモリーするには…

ラジオモードで、メモリーしたい放送局を選局し、[ISR]ボタンを押し続けて(約2秒間)ください。

→ISRにメモリーされます。

CD/MP3/WMAを聴く

MP3/WMAについて

●MP3とは

MPEG規格のオーディオ・レイヤー3(MPEG audio layer3)に分類される音声圧縮方式で、パソコンユーザーの間で同方式は標準フォーマットとして浸透しています。

オリジナルの音声データを約1/10のデータ量にまで圧縮でき、更に高音質なのが特長です。1枚のCD-R/RWディスクに、CD約10枚分に相当する音楽を収録することで、ディスク交換不要の長時間再生が可能です。

●WMAとは

- ・「Windows Media Audio」の略で、マイクロソフトが開発したオーディオファイルのことです。
- ・WMAのDRM(著作権保護)がONのままのファイルを再生した場合は、音声が出力されません。
- ・Windows Media™、及びWindows®ロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標および登録商標です。

●DRM(著作権保護)の解除方法について

- ・Windows Media Player 9ご利用時は、「ツール」「オプション」「音楽の録音」のタブで、「録音設定」の中の「保護された音楽を録音する」のチェックボックスをはずして、再度ファイルを作成してください。
- ・Windows Media Player 10ご利用時は、「ツール」「オプション」「音楽の取り込み」のタブで、「取り込みの設定」の中の「取り込んだ音楽を保護する」のチェックボックスをはずして、再度ファイルを作成してください。

※作成したWMAファイルにおいては、個人の責任において実施してください。

●MP3/WMAディスク作成時のご注意

再生可能なサンプリングレート・ビットレートについては「仕様」(36ページ)をご覧ください。

ファイル拡張子

- ・ファイル拡張子には、必ず半角文字で拡張子「.MP3」「.WMA」「.mp3」「.wma」を付けてください。それ以外の拡張子を付けた場合や拡張子を付けなかった場合には、再生できませ

ん。

- ・MP3/WMAデータでないファイルは再生できません。演奏時間表示部に「――：――」と点滅表示します。

論理フォーマット(ファイルシステム)

- ・MP3/WMAファイルをCD-R/RWに記録する場合、ライティングソフトのフォーマット設定は「ISO9660(レベル1,2)」、Joliet、Romeo」を選択してください。他のフォーマットで記録した場合には正常に再生しない場合があります。
- ・MP3/WMA再生ではフォルダ名、ファイル名、TAGをタイトルとして表示することが可能ですが、名称は、半角英数/記号(ASCII)までとなります。それ以外の文字を入力した名称は、正しく表示しない場合があります。
- ・同一フォルダ内に、同じファイル名を付けないでください。

TAG表示について

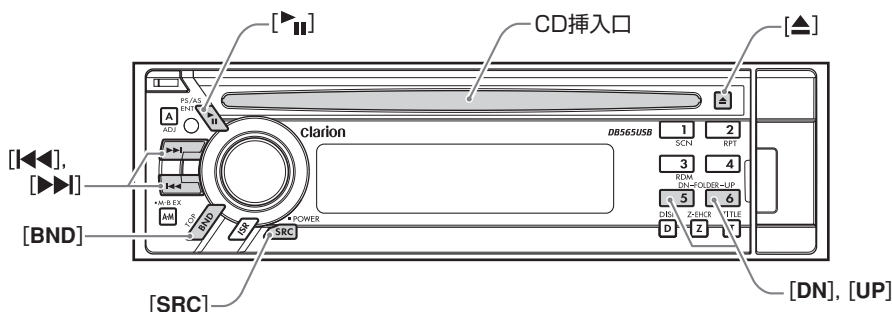
- ・TAGのないMP3/WMAフォルダは「**NO TAG**」が表示されます。
- ・MP3の場合は、ID3-TAG V2.4/2.3/2.2/1.1/1.0に対応しています。TAG表示は、V2.4/2.3/2.2を優先します。
- ・WMAの場合、アルバムTAGは、拡張ヘッダーに書き込まれた情報を表示します。
- ・TAGで表示可能な文字は、半角英数/記号(ASCII)です。

フォルダ階層

- ・フォルダが8階層を超えたディスクについては、再生できません。

ファイル/フォルダ数

- ・曲のファイル数は、最大で255ファイルまでの再生が可能となります。
- ・曲の演奏はディスクに記録した順番に行われます。(パソコン上で表示される順番通りに演奏されるとは限りません。)
- ・記録時のエンコーダーソフトによっては、若干ノイズが発生する場合があります。



演奏するファイルタイプを切り換える(マルチセッション機能)

マルチセッション機能について…

通常のCDタイプの曲とMP3/WMAタイプの曲が混在しているディスクのときに、演奏するファイルのタイプを選択できます。

1 CDタイプとMP3/WMAタイプが混在するディスクを入れる

→CDタイプの曲が最初に演奏されます。

2 MP3/WMAタイプのファイルを演奏するには、[UP]ボタンを押す

→次のフォルダーに移り、MP3/WMAタイプのファイルを演奏します。

3 CDタイプの演奏に戻るには、[DN]ボタンを押す

ディスクを入れる

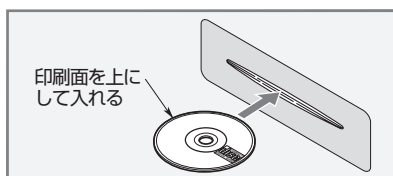
ディスク・イン・プレイ機能について…

本機の電源が入っていない状態からでも、車のエンジンキーがONまたはACCであればディスクを入れると、自動的に電源が入り、演奏をはじめます。

⚠ 注意

- ディスク挿入口に手や指を入れないでください。また、異物を入れないでください。
- セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出していたり、はがした痕があるCDは入れないでください。CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。

1 CD挿入口にディスクを入れる



→ディスクを入れると、演奏が始まります。

ご注意

- マルチセッションでファイナライズされていないディスクの場合、ディスクの読み込みに長い時間がかかりますので、ファイナライズしたディスクを使用してください。
- ディスクがスムーズに挿入口に入らない場

合は、本機に他のディスクが入っているか、修理が必要な場合が考えられます。

- CD-RまたはCD-RWで記録されたディスクでも使用できない場合があります。

■シングルCD(8cmCD)について…

- シングルCDはアダプターを付けずにお使いください。
- シングルCDを入れるときは、CD挿入口の中央から入れてください。

ディスクを取り出す

バックアップイジェクト機能について…
本機の電源が入っていない状態からでも[▲]ボタンを押すと、ディスクを取り出すことができます。

1 [▲]ボタンを押す

→ディスクがイジェクトされたら、取り出します。

すでに入っているディスクを聴く

1 [SRC]ボタンを押して、CD/MP3/WMAを選ぶ

→CD/MP3/WMAになると、自動的に演奏が始まります。
ディスクが入っていないときは、タイトル表示部に「**NO DISC**」と表示します。

ラジオ → CD/MP3/WMA → (USB) → AUX

曲を選ぶ

1 次の曲を聴くときは、[▶▶]ボタンを押す

前の曲を聴くときは、[◀◀]ボタンを2回押す

→[▶▶]ボタンを押すと、次の曲が演奏されます。また押した回数だけ先の曲が演奏されます。

[◀◀]ボタンを押すと、演奏中の曲を最初から演奏します。さらに押すと、押した回数だけ前の曲が演奏されます。

- 曲の頭部分を演奏しているときに[◀◀]ボタンを2回押すと、2曲前の曲へ戻ることがあります。

演奏を止める(一時停止)

1 [▶||] (プレイ/ポーズ) ボタンを押す

→タイトル表示部に「**PAUSE**」を表示します。

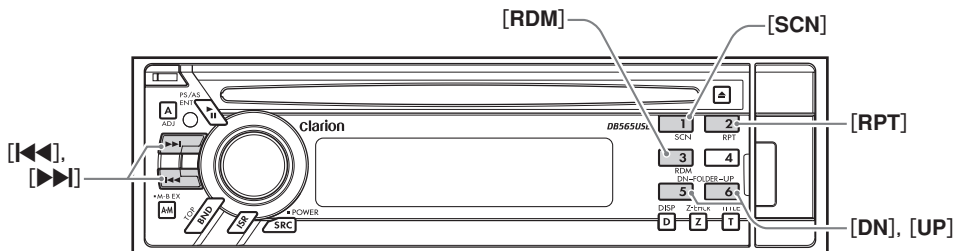
■ **続けて演奏を聴きたいときには…**
もう一度、[▶||] (プレイ/ポーズ) ボタンを押してください。

早送り/早戻しする

1 早送りするときは、[▶▶]ボタンを押し続ける

早戻しするときは、[◀◀]ボタンを押し続ける

- 5倍速ではじまり、3秒後にCDのときは30倍速、MP3/WMAのときは10倍速になります。
- MP3/WMAディスクの場合は、サーチ開始および曲間で多少時間がかかります。また、演奏時間表示に誤差が生じる場合があります。



最初の曲から聴く(トップ機能)

トップ機能について…

演奏しているディスクの最初の曲から演奏をはじめます。

1 [BND]ボタンを押す

→最初の曲(トラックNo.1)から演奏されます。

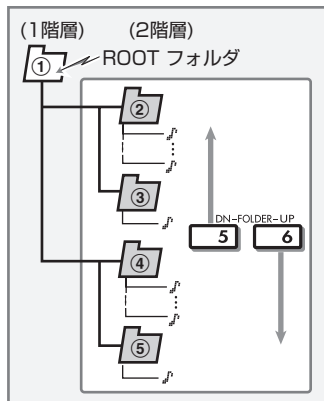
フォルダを切り換える(フォルダ選択モード)

フォルダ選択モードについて…

MP3/WMAディスク再生時、MP3/WMAファイルのあるフォルダを選択して、そのフォルダ内の最初の曲から演奏します。

1 [DN], [UP]ボタンを押す

→5(DN)を押したときは前のフォルダに、6(UP)を押したときは次のフォルダに移ります。



■ 曲を選ぶには…

[<<], [>>]ボタンを押してください。

いろいろな演奏(スキャン/リピート/ランダム演奏)

■ 聴きたい曲を探す(スキャン演奏)

CDに収録されている全曲を10秒間ずつ演奏します。

1 [SCN]ボタンを押す

→ディスプレイの「**SCN**」が点灯して、スキャン演奏をします。

- スキャン演奏は、演奏している曲の次の曲から始まります。

■ 聴きたいフォルダを探す(フォルダスキャン演奏)

MP3/WMAディスク内の全てのフォルダの最初の曲を約10秒間ずつ演奏します。

1 [SCN]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→ディスプレイの「**ALL...**」と「**SCN**」が点灯して、フォルダスキャン演奏をします。

■ 曲を繰り返し聴く(リピート演奏)

演奏中の1曲を繰り返し演奏します。

1 [RPT]ボタンを押す

→ディスプレイの「**RPT**」が点灯して、リピート演奏をします。

■ フォルダ内の曲を繰り返し聴く(フォルダリピート演奏)

演奏中のMP3/WMAフォルダ内の曲を繰り返し演奏します。

1 [RPT]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→ディスプレイの「**ALL...**」と「**RPT**」が点灯して、フォルダリピート演奏をします。

■ ランダムに演奏を聴く(ランダム演奏)

CDに収録されている全曲を順不同に演奏します。

1 [RDM]ボタンを押す

→ディスプレイの「**RDM**」が点灯して、ランダム演奏をします。

■ ランダムに演奏を聴く(フォルダランダム演奏)

MP3/WMAディスク内の全てのフォルダの全ての曲を順不同に演奏します。

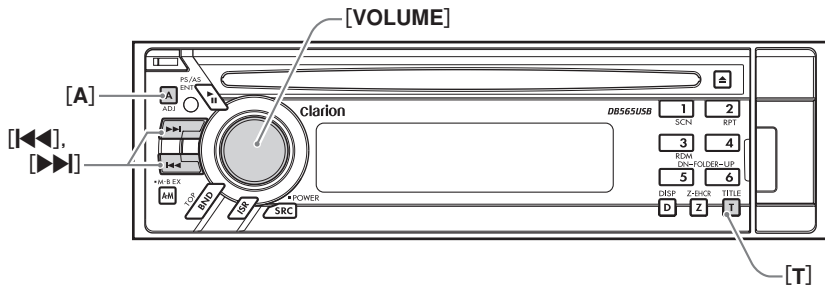
1 [RDM]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→ディスプレイの「**ALL...**」と「**RDM**」が点灯して、フォルダランダム演奏をします。

■ 演奏をキャンセルするには

1 もう一度、同じ演奏ボタンを押す

設定を変更する(アジャストモード)



スクリーンセーバーを設定する(SCRN SVR)

スクリーンセーバーのON/OFFを設定することができます。

※初期設定は、「SS ON」です。

1 [A]ボタンを押す

→タイトル表示部に前回調整した項目「**CLOCK <E>**」等を表示して、アジャストモードになります。

2 [◀◀]または[▶▶]ボタンを押して、
「SCRN SVR」を選ぶ

→ボタンを押すたびに、設定項目が切り換わります。

CLOCK(E) ↔ SCR N SVR ↔ A-SCROL

3 [VOLUME]ノブを回して、設定内容を選ぶ

- **SS ON** : スクリーンセーバーパターンを表示します。
- **SS OFF** : 表示しません。

4 [A]ボタンを押して、元のモードに戻る

タイトルスクロールを設定する(A-SCROL)

MP3/WMA/USBのファイルに記録されたタイトル表示をスクロールすることができます。

※初期設定は、「ON」です。

1 [A]ボタンを押す

→タイトル表示部に前回調整した項目「**CLOCK <E>**」等を表示して、アジャストモードになります。

2 [◀◀]または[▶▶]ボタンを押して、
「A-SCROL」を選ぶ

→ ボタンを押すたびに、設定項目が切り換わります。

CLOCK(E) ↔ SCR N SVR ↔ A-SCROL

3 [VOLUME]ノブを回して、設定内容を選ぶ

- **ON** : 自動でスクロールを始め、スクロールを繰り返します。
- **OFF** : **[T]** ボタンを約 1 秒間押し続けると、1 回のみスクロールします。

4 [A]ボタンを押して、元のモードに戻る

USBメモリーのオーディオファイルを聴く

<USBの操作について>

次の操作はCD/MP3/WMAと同様の操作です。

- 曲を選ぶ
- 早送り/早戻し
- 一時停止
- トップ機能
- スキャン/リピート/ランダム演奏
- フォルダー選択モード

「CD/MP3/WMAを聴く」(25～27ページ)をご覧ください。

USBメモリーについて

- USBはユニバーサル・シリアル・バスの略称で、12Mbpsのデータ転送レートをサポートする外部バスの標準です。

※以下の説明では、USBメモリをUSBと略称で記載します。

- 本機は最大12Mbpsの転送レートで、USB 1.1/2.0互換です。
- 本機のUSBポートに接続をして再生できるUSBは、「USBマストストレージクラス」として認識されることが条件となりますが、すべてのUSBの動作を保証するものではありません。

※「USBマストストレージクラス」に準拠したデバイスは、特殊なドライバーやアプリケーションソフトを使用することなく接続するだけで使用できます。

- 使用するUSBが「USBマストストレージクラス」に準拠しているかは、USBの販売メーカーにお問い合わせください。
- 本機で再生できるオーディオファイルは、MP3/WMAファイルのみです。詳しくは「MP3/WMAについて」(23ページ)をご覧ください。

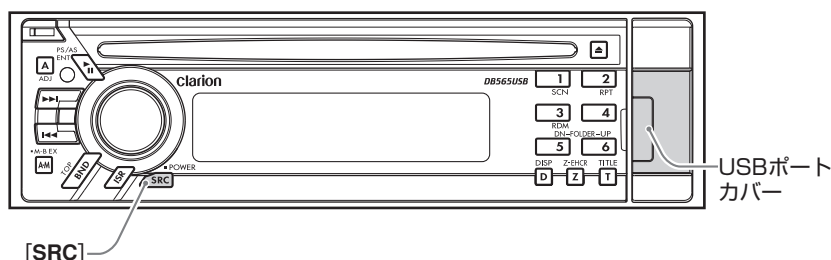
著作権保護されたWMAファイルは、本機による再生はできません。

- USBを本体に挿入すると突起物となり、運転中に何らかの危険を及ぼす場合があります。市販のUSB延長ケーブルを使用し、安全な接続方法でご使用ください。

- 接続する機種によっては、動作しない場合もあります。
- 記録されているデータを消失してしまったのために、貴重なデータは必ずパソコンなどにバックアップをとっておくことをお勧めします。
- 本機はパソコンとの接続には対応していません。また、USBハブを介して接続することもできません。
- 接続するUSBによっては曲順等が変わってしまう場合があります。(パソコン上で表示される順番通りに演奏されるとは限りません。)

ご注意

- USBの本体への挿入は、電源がONの状態のときに行なってください。OFFの状態で行なうと、USBを認識しない場合があります。
- USBの抜き差しは、USBにアクセスしていないときに行ってください。次のようなときに行なうと、データが破損する場合があります。
 - …読み込み中にUSBを抜いたり、電源をOFFしたとき
 - …静電気、電気ノイズの影響を受けたとき
- USBを車内に放置しないでください。直射日光や高温等の影響により、USBが変形したり故障する場合があります。

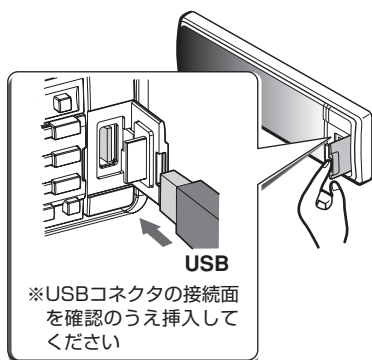


USBを接続する



- USBポートに異物を入れないでください。

1 USBポートカバーを開ける



2 USBポートにUSBを挿入する

→挿入すると、USBに保存された最初のファイルから演奏をはじめます。

- USBを認識しない場合は、[SRC]ボタンを押してソースを切り換えてください。
- USBはコネクタの奥までしっかりと差し込んでください。差し込みが不完全ですと、USBを認識しない場合があります。

- USBの形状によっては本体に挿入できない場合があります。そのような場合には市販されているUSB延長ケーブルを使用して接続してください。
- 収録されている曲数によっては読み込みまでに時間がかかる場合があります。
- 接続するUSBによっては曲順等が変わってしまう場合があります。(パソコン上で表示される順番通りに演奏されるとは限りません。)

接続されたUSBを聴く

1 [SRC]ボタンを押して、ソースを切り換える

→押すたびに次のように切り換わります。USBになると前回停止したところから始まります。

ラジオ → CD/MP3/WMA → (USB) → AUX

- USBが接続されていないときは、USBモードは表示されません。
- USBを取り外し再度挿入したときは、USBの最初から演奏をはじめます。

演奏を終了するには

- 1 [SRC]ボタンを押して、USB以外のソースに切り換える

ご注意

- USBモード中にUSBを抜き取らないでください。USBのデータが破損する場合があります。
貴重なデータは必ずパソコン等にバックアップデータを保存しておいてください。

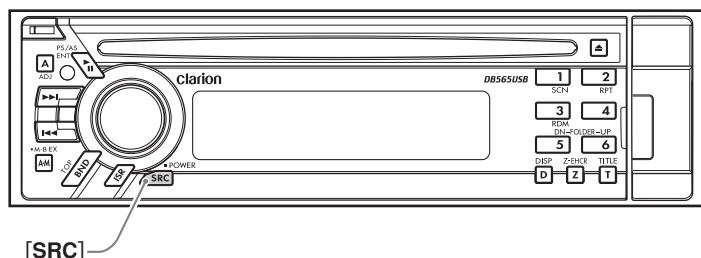
- 2 USBポートからUSBを取り外す

- 3 USBポートのカバーを閉じる

ご注意

- 演奏終了後はUSBポートのカバーを閉じて、ホコリ等侵入による接続端子の損傷を防止してください。

携帯用オーディオを聴く



AUXを選ぶ

AUXについて…

本機に市販のヘッドホンステレオなどを接続して音楽ソースを聴くことができます。

■AUX入力の接続のしかた

本機のAUX入力端子へ市販のコードを使用して、携帯用オーディオを接続してください。

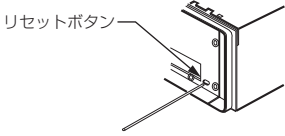
1 [SRC]ボタンを押す

→ 押すたびに、次のように切り換わります。AUXになると、接続された携帯用オーディオのプレイ操作で、音が再生されます。

ラジオ → CD/MP3/WMA → (USB) → AUX

故障かな？と思ったら

次のような症状は、故障ではないことがあります。修理を依頼される前に、もう1度次のことをお調べください。

	現 象	原 因	処 置
共 通	電源が入らない (音が出ない)	ヒューズが切れている	入っていたのと同じ容量のヒューズと交換してください。 再度切れる場合は、お買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
		配線が不完全	お買い求めの販売店または弊社修理相談窓口にご相談ください。
		アンテナ電源コードまたはリモートオンコードが、金属部に接触してショートしている	本機の電源を切り、アンテナ電源コードおよびリモートオンコードのショートしている箇所を絶縁テープなどで、ショートしないように保護してください。
		パワーアンプ等接続時のリモートオンコードの電流容量不足	接続するパワーアンプ等について、お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
	ボタンを押しても動作しない、またはディスプレイが正確に表示されない	ノイズなどが原因で、マイコンが誤動作している	1.電源をOFFした後、 [RELEASE] ボタンを押してDCPを取り外す。 2.リセットボタンを、細い棒などで約2秒間押してください。  リセットボタンを押したときは、設定したプリセットメモリー等が全て消えますので、もう一度設定し直してください。
	音が出なくなった	スピーカー保護回路が動作しています	音量をもう少し絞ってお聞きください。 電源を再投入する事で、音声出力は復帰します。スピーカー保護回路が動作した場合は自動的にボリュームが絞られます。再度、短時間で音が出なくなる場合は相談窓口にご相談ください。
ラ ジ オ	雑音が多い	放送局の周波数に合っていない	正しい周波数に合わせてください。
	自動選局で選局できない	強い電波の放送局がない	手動選局モードで選局してください。
C D / M P 3 / W M A	音がでない	ディスクを裏表逆に入れている	ディスクの印刷面を上にして入れてください。
		ディスクにMP3/WMAファイルがない	ディスクにMP3/WMAファイルを正しく書き込んでください。
		ファイルがMP3/WMAファイルではない	正しくエンコードされたMP3/WMAファイルをご使用ください。

その他

	現 象	原 因	処 置
C D M P 3 W M A	音がでない	ファイルシステムが正しくない	ISO9660レベル1、2、Joliet、Romeoでファイルを作成してください。
	音飛びする ノイズなどが入る	ディスクが汚れている	ディスクを柔らかい布でふいてください。
		MP3/WMAファイルが正しくエンコードされていない	正しくエンコードされたMP3/WMAファイルをご使用ください。
		録音時のサンプリング周波数が低い	サンプリング周波数の設定を上げて録音し直してください。
		ディスクに大きい傷やソリがある	ディスクを無傷なものに交換してください。
	電源を入れた直後音質が悪い	湿気の多いところに駐車すると、内部のレンズに水滴が付くことがあります。	電源を入れた状態にして1時間乾燥させてください。
	ファイル名が違う	ファイルシステムが正しくない	ISO9660レベル1、2、Joliet、Romeoでファイルを作成してください。
U S B	音がでない	USBにMP3/WMAファイルがない	USBにMP3/WMAファイルを正しく書き込んでください。
		ファイルがMP3/WMAファイルではない	正しくエンコードされたMP3/WMAファイルをご使用ください。
		ファイルがDRM(著作権保護)されている	DRM(著作権保護)の解除方法(23ページ)を参照して、解除してください。
		コネクタの接続が悪い	USBを抜き差しして、接続を確実にしてください。
	音飛びする ノイズなどが入る	MP3/WMAファイルが正しくエンコードされていない	正しくエンコードされたMP3/WMAファイルをご使用ください。
	USBメモリーが認識されない	USBが破損している	USBを抜き差ししてください。それでも認識しない場合には、新しいUSBメモリーと交換してください。
		コネクタの接続が悪い	
	USBメモリーが挿入できない	USBの挿入方向が間違っている	USBの向きを変えて挿入してください。(一般的にブランド等の表示面を左側にして挿入します。)
		USBのコネクターが破損している	新しいUSBと交換してください。
その他	ディスプレイに「エラー表示」が出る	自己診断機能がはたらき、障害が発生したことを知らせている	次ページの「エラー表示について」を参照して、内容を確認してください。

エラー表示について

本機は、システム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。
障害が発生したときは、各種のエラーが表示されますので、対処方法にしたがって障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作に戻ります。

	エラー表示	原因	対処方法
CD・MP3・WMA	ERROR2	本機にディスクが引っかかって、イジェクトされないとき	本機のメカニズムの故障と思われます。 お買い求めの販売店または弊社修理相談窓口にご相談ください。
	ERROR3	ディスクに傷などがあり、演奏できないとき	傷やソリのないディスクと交換してください。
		ディスクを裏返しに入れ、演奏できないとき	ディスクをイジェクトし、正しく入れ直してください。
		ブランクディスク(無録音)を入れたとき	録音されているディスクと交換してください。
	NO FILE	ディスクにオーディオファイルがないとき	オーディオファイルが保存されたディスクと交換してください。
USB	MNT ERR	USBメモリーの読み込みエラーのとき	USBメモリーをもう一度抜き差ししてください。
		書き込み防止スイッチ付きUSBメモリーで、このスイッチがONになっているとき	書き込み防止スイッチをOFF(書き込み可能)に切り換えてください。
	NO FILE	USBメモリーにオーディオファイルがないとき	オーディオファイルが保存されたディスクと交換してください。
	USB ERR	USBコネクタがショート/USBメモリーがオーバーロード	USBメモリーを取り外した後、 [SRC] ボタンを押して電源をOFFする。 もう一度 [SRC] ボタンを押して電源をONしてください。

上記以外のエラーが表示されたときは、前ページを参照してリセットボタンを押してください。それでも復帰しない場合は、本体の電源を切り、お買い求めの販売店にご相談ください。

■CDプレーヤー部

周波数特性 : 10Hz~20kHz±1dB
SN比 : 85dB(1kHz) IHF-A
ダイナミックレンジ : 80dB (1kHz)
高調波ひずみ率 : 0.01%

■FMチューナー部

受信周波数 : 76.0MHz~90.0MHz
実用感度 : 11dBf
50dBクワイティンク感度 : 17dBf
SN比 : 70dB
周波数特性 : 30Hz~15kHz±3dB
分離度 : 35dB(1kHz)
高調波ひずみ率 : 0.3%(1kHz)

■AMチューナー部

受信周波数 : 522kHz~1,629kHz
実用感度 : 25dBμV
SN比 : 50dB

■MP3/WMA部

フォルダ構造 : 8階層
フォルダ数/ファイル数
: 最大255
ファイル名/フォルダー名
: 最大28byte(1byte文字で28文字)

(MP3ディスク)

MP3デコード : MPEG-1、2、2.5 オーディオ
レイヤー3準拠
サンプリングレート(kHz)
MPEG-1 : 32, 44.1, 48
MPEG-2 : 16, 22.05, 24
MPEG-2.5 : 11.025, 44.1
ビットレート(kbps/VBR)
MPEG-1 : 32~320
MPEG-2 : 8~160
MPEG-2.5 : 8~160

論理フォーマット :
ISO9660レベル1,2/Romeo/Joliet

(WMAディスク)

サンプリングレート(kHz) :
22.05~44.1
ビットレート(kbps/VBR) :
48, 64, 80, 96, 128, 160, 192
論理フォーマット :
ISO9660レベル1,2/Romeo/Joliet

■USB部

最大転送レート12MbpsでUSB1.1/2.0互換
フォルダ構造 : 8階層
フォルダ数/ファイル数
: 最大255
ファイル名/フォルダー名
: 最大28byte(1byte文字で28文字)

(MP3)

MP3デコード : MPEG-1、2、2.5 オーディオ
レイヤー3準拠
サンプリングレート(kHz)
MPEG-1 : 32, 44.1, 48
MPEG-2 : 16, 22.05, 24
MPEG-2.5 : 8, 11.025, 12
ビットレート(kbps/VBR)
MPEG-1 : 32~320
MPEG-2 : 8~160
MPEG-2.5 : 8~160

(WMA)

サンプリングレート(kHz) :
8, 11.025, 16, 22.05, 32, 44.1
ビットレート(kbps/VBR) :
48, 64, 80, 96, 128, 160, 192

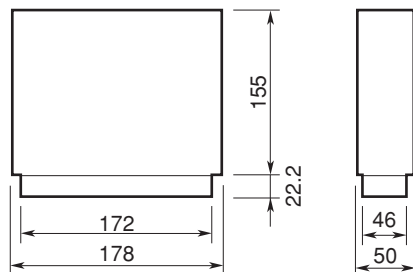
■オーディオ部

定格出力 : 17W×4(20Hz~20kHz, 1%, 4Ω)
最大出力 : 50W×4
適合インピーダンス : 4Ω(4Ω~8Ω)
トーンコントロール
BASS : ±14dB (100Hz)
TREBLE : ±14dB (10kHz)
マグナベースEX :
+10dB(50Hz) (音量ステップ 14)
ラインアウト出力レベル : 1.8V(CD1kHz)

■共通部

電源電圧 : DC14.4V
 接地方式 : マイナス接地
 消費電流 : 3.0A(1W時)
 ヒューズ定格 : 15A
 外形寸法 :
 178(W)×50(H)×177.2(D)mm
 [取付寸法 : 155(D)mm]
 質量 : 1.3kg

●本体部



■付属品

- 取扱説明書 1部
- 取付説明書 1部
- 修理相談窓口リスト 1部
- 保証書 1部
- 電源コード 1本
- セムス六角ボルト 5本
- サラネジ(M5×8) 4本
- DCPケース 1個

* これらの仕様およびデザインは、改善のため、予告なく変更する場合があります。

アフターサービスについて

■保証書

この商品には、保証書が添付されています。お買い求めの際、販売店で所定事項を記入いたしますので、記入および記載事項をご確認のうえ、大切に保管してください。なお、保証書は再発行いたしませんので、ご注意ください。

■保証期間

お買い求めの日より1年間です。

■万一故障が発生した場合

保証期間中に、正常な使用状態で故障が発生した場合には、保証の記載内容に基づいて、無料で修理いたします。

お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。

■保証期間経過後の修理について

修理することにより性能が維持できる場合には、お客様のご要望により、有料で修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)は、製造打ち切り後6年保有しています。

クラリオン株式会社

本社 〒112-0001 東京都文京区白山5-35-2
Clarion ホームページ <http://www.clarion.co.jp>

お問い合わせはお客様相談室へ

フリーダイヤル：0120-112-140

(9:00~12:00・13:00~17:30/土・日・祝祭日を除く)

ご購入年月日	年 月 日
ご購入店名	
	TEL.
製造番号	

*お客様へ … ご購入年月日、ご購入店名などを記入されると、
あとでお問い合わせされるときに便利です。